

# 「新型コロナウイルス感染症流行期におけるリハビリテーション提供状況の変化と アウトカムへの影響に関する調査研究」 実施に関するお知らせ

国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部では、患者様に提供する医療の質の向上を目的として、国立病院機構臨床研究中央倫理審査委員会の承認のもと、国立病院機構に属する各病院内の電子カルテ等診療情報を活用した分析研究を実施することとなりました。研究の内容は以下のとおりです。

## 1. 研究の目的と意義

新型コロナウイルス感染症の流行は、入院医療の提供体制に大きな影響をもたらしました。特にリハビリテーションにおいては患者-医療者間の身体接触を要する機会が多いことから、感染予防対策として実施者を制限するなどの対策を取ったとする報告もあります。しかし、その実態は不明です。本研究の目的は、わが国の新型コロナウイルス感染症流行期における、リハビリテーションの提供状況を調査し、感染症の流行がリハビリテーション対象者に及ぼした影響を明らかにすることです。

## 2. 研究の概要

本研究の対象となるのは、国立病院機構の病院において、2018年12月～2019年6月および2019年12月～2020年6月の間に次の疾患で入院した患者様です（脳卒中・大腿骨骨折・急性心筋梗塞・心不全・慢性閉塞性肺疾患・悪性腫瘍術後）。本研究では、①診療報酬明細書のデータ、②「DPC導入の影響評価に関する調査」に提出しているデータ、③NCDAにより集積された診療情報（年齢、性別、病名、薬の処方、検査結果など）、を利用させていただきます。本研究は、日常診療から集積された既存の診療情報を二次的に利用するものであり、新たに患者様に何らかの負担が生じることはございません。

## 3. 個人情報の保護について

本研究で利用させて頂く個人情報等は、個人が直接特定できない匿名化情報として加工し厳重に管理・保護いたします。プライバシーに係る個人情報が外部に漏洩することは一切ございません。

なお、本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがあります。集団を記述した数値データとし、患者様個人が同定されるデータを公表することは一切ございません。

本研究の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご自身の情報が本研究に利用されることにご了承いただけない場合、研究計画書及び研究に方法に関する資料の閲覧をご希望される場合、本研究で利用する個人情報の開示等を希望される場合、または本研究についてご質問がある場合は、下記窓口までご連絡ください。これらの場合において、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

### 【問い合わせ窓口】

国立病院機構本部 総合研究センター 診療情報分析部 金沢奈津子

〒152-8621 東京都目黒区東が丘2-5-21

TEL : 03-5712-5133

第1.0版 2020年11月19日